



联合国  
粮食及  
农业组织

FOOD AND  
AGRICULTURE  
ORGANIZATION  
OF THE  
UNITED NATIONS

ORGANISATION  
DES NATIONS  
UNIES POUR  
L'ALIMENTATION  
ET L'AGRICULTURE

ORGANIZACION  
DE LAS NACIONES  
UNIDAS PARA  
LA AGRICULTURA  
Y LA ALIMENTACION

منظمة  
الغذية  
والزراعة  
للأمم  
المتحدة

### Liaison Office in Japan

5F Yokohama International Organizations Center, Pacifico-Yokohama,  
1-1-1, Minato Mirai, Nishi-ku, Yokohama 220-0012, Japan

Tel. (045) 222-1101  
Facsimile: (045) 222-1103  
E-Mail Address: FAO-LOJA@FAO.ORG

F A O (国際連合食糧農業機関) 日本事務所  
2009年4月23日

LOJAPR09/09-No. 131

## プレスリリース

### 食料価格は開発途上国で依然高い 世界の穀物供給の改善にもかかわらず食料危機は32カ国で続く

2009年4月23日、ローマ - 世界の穀物供給状況の改善と食料の国際価格の急落にもかかわらず、開発途上国では依然高い食料価格が続いている、とFAOは23日発表した「穀物見通しと食料事情」報告書の中で警告した。開発途上国での高い食料価格は、既に飢餓と栄養不足に苦しんでいる何百万人もの貧しい人々へ更なる苦難をもたらす可能性がある。

FAOの2009年最初の見通しによると、今年の世界の穀物生産は2008年より3%減と見通されているが、それでも依然過去2番目に大きな生産高である。減少のほとんどは小麦によると考察されているが、主に国際価格の低下に対応した先進国での作付け面積の著しい減少が原因である。開発途上国では、穀物生産は、ほぼ昨年良好な水準にとどまるものと見られる。

通常であれば最も食料不安のリスクが高い国の多くで2008年の穀物生産が良好であったにもかかわらず、食料危機が32カ国で続いている。

#### 手の届かないところに

開発途上国の穀物価格は概して依然非常に高水準であり、最高水準の場合もある、とFAOは報告している。最も悪影響を受けたのは食料へのアクセスを市場に頼る都市部の貧困者と食料不足農民である。更に、多くの場合脆弱な世帯の食料消費レベルを維持している国外で働く家族からの送金を、世界規模の景気後退が枯渇させている。

開発途上国58カ国の国内食料価格の分析によれば、約80%の事例では食料価格が12カ月前より高く、約40%の事例では3カ月前よりも高い。17%の事例では、最新の相場価格は過去最高となっている。

状況はサハラ以南のアフリカで最も劇的である。コメの国内価格は分析されたすべての国で12カ月前よりかなり高く、トウモロコシ、ミレット、ソルガムは89%の国で一年前と比べて高い。

食料価格は、特にアジアのコメや中南米のトウモロコシ、小麦に見られるように、他の地域でも依然高水準である。

#### 輸入の遅延

報告書によると、国際価格と輸送費の低下で低所得食料不足国(LIFDCs)の穀物輸入代金は2008/09年度には前期の史上最高水準より27%下落した280億ドルとなる見込みで、若干の緩和となった。

FAOによれば、商業的穀物輸入と食料援助双方の遅れが、貧しい国の食料価格を高水準に留めている要因の一つであるという。3月末までには、2009年に終わる市場年度に向けた低所得食料不足国における穀物輸入需要の45%しか満たされていなかった。

## 飢餓のホットスポット

食料不安はアジアの地域、特にアフガニスタン、スリランカおよびミャンマー

の一部で広がる。報道によれば、朝鮮民主主義人民共和国では、慢性的な食料不安の中で、供給の減少により食料配給が半減している。

東アフリカでは、1,700 万人以上の人々が不作、紛争またはそれらが複合した要因により、深刻な食料不安に直面している。ソマリアでは、推計 320 万人の人が現在食料支援を必要としている。スーダンでは、紛争が続き最近のダルフールでの人道支援団体の登録抹消により、すでに悲惨な状況にある何百万という脆弱な人々に対する深刻な懸念を引き起こしている。

南部アフリカでは、飢餓がピークに達する数ヶ月間における高い国内価格、輸入の遅延および高い需要が、約 8 7 0 万人の食料安全保障に影響を与えている。この中には、現在進行中のコレラの発生が脆弱な人々の健康と栄養に深刻な脅威となっているジンバブエの 500 万人以上も含まれる。

英文 URL <http://www.fao.org/news/story/en/item/12660/icode/>